

2.2 JOB文

JOB 文はジョブの始めを示します。また、そのジョブの属性を定義します。ジョブの属性には次のようなものがあります。

属性

- ・ ジョブ名必ず指定する
 - ・ 課金識別情報
 - ・ プログラム名
 - ・ システムメッセージの出力クラス
 - ・ システムメッセージの出力レベル
 - ・ ジョブクラス
 - ・ その他
- } センタの指示に従って指定する
- } 標準値 以外の属性を指定したい場合に指定する

ジョブ名、課金識別情報、プログラム名以外の属性はセンタごとに標準値が設定されています。

標準値とは、デフォルト値のことです。明示的に値を指定しなかった場合に仮定される値です。

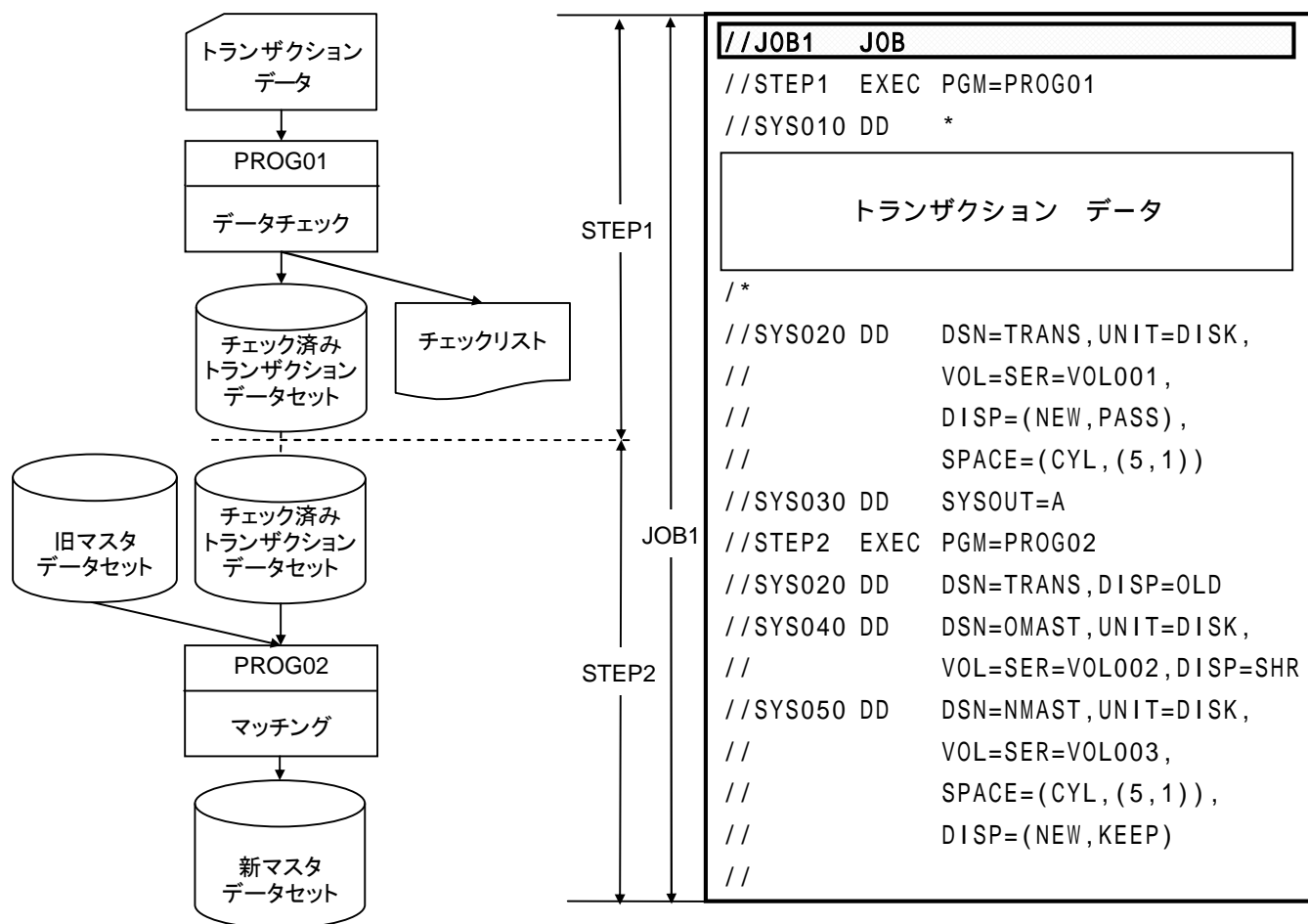


図 2-3 JOB 文

書き方

```
//ジョブ名 ,JOB , [( [課金識別情報] [ ,追加の課金識別情報 ] ... )
[ ,プログラマ名 ]
[ ,MSGCLASS = 出力クラス ]
[ ,MSGLEVEL = ( ( 0 ) ( , 0 ) )
                ( 1 ) ( , 1 )
                ( 2 )
[ ,CLASS = ジョブクラス ]
[ ,TYPRUN = SCAN ]
[ ,TIME = ( [分] [ ,秒] [ ,時間] ) ) ]
[ ,REGION = 値 K ]
[ ,NOTIFY = ユーザー登録名 ]
[ ,COND = ( (条件コード,演算符号),...) ]
```

(1) ジョブ名

ジョブを識別するための名称を指定します。ジョブ名は 8 文字以内の英数字で、先頭の 1 文字は英字を指定します。なお、ジョブ名は省略できません。

(2) 課金識別情報とプログラマ名

(課金識別情報 [,追加の課金識別情報] ...),プログラマ名

課金識別情報とプログラマ名は、センタが利用者に対して課金を行う場合に必要となるオペランドです。センタはこれらの情報により、各ユーザーの記憶装置の使用量や入出力レコード数などを収集します。

これらのオペランドは、センタによって指定の有無が異なるため、センタの指示に従って指定してください。

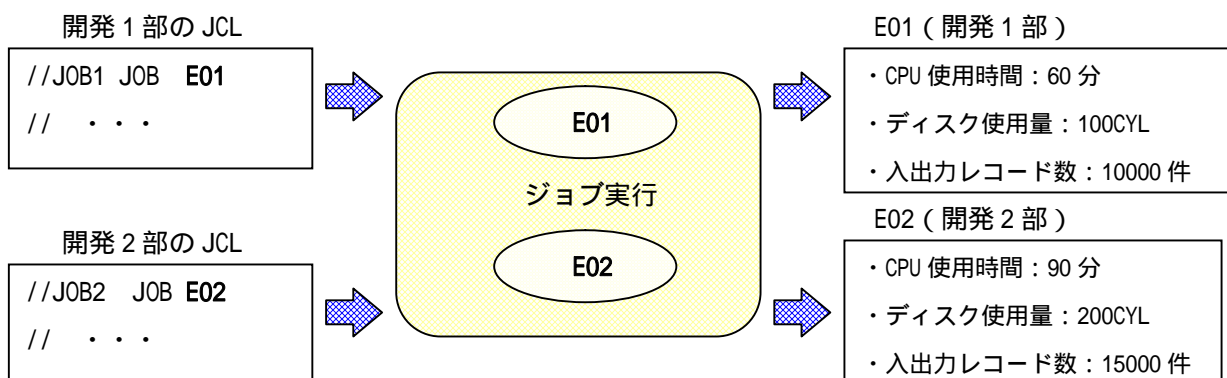


図 2-4 課金識別情報の例

(3) MSGCLASS オペランド (MeSsaGe CLASS)

MSGCLASS = 出力クラス

ジョブを実行すると、そのジョブに関するメッセージ（ジョブ制御文、入出力装置の割り当て、およびデータセットの後処理に関するメッセージなど）が出力されます。このようなメッセージを**システムメッセージ**といいます。

JOB 文の MSGCLASS オペランドでは、システムメッセージの出力クラスを指定します。

このオペランドを省略すると、センタの標準値が仮定されます。

出力クラス

システムメッセージの出力クラスを指定します（A～Z、0～9）。

【例】 システムメッセージの出力クラスとして、A クラスを指定する

